

薬物乱用防止教室 劇団三十六計の演劇鑑賞

素晴らしい明日のために…違法薬物『買わない』『使わない』『かかわらない』

毎年実施している薬物乱用防止教室ですが、今年度は啓発劇を鑑賞しました。演劇ではあるけれども、**実際にあったこと**です。

薬物を勧める人は、「一度やってみて、合わなければやめればいい」「集中できる、やせる、眠くならない」など、けっして**危険な物ではないと思わせて**、言葉巧みに誘ってきていました。イライラしたり、なんかつまらないと思っていたり、思うようにいかなかったり、自分のことをわかってくれる人がいないなど、**心が弱っている隙を狙ってきます**。

劇を見た後に劇団代表者の戸田さんが皆さんに問いかけました。「使ってしまうと思う人は手を挙げてください」4分の1ぐらいの手が挙がっていました。「**なぜ、断れないのか?**」を考えることが大事です。そこが、**自分の弱み**になるからです。戸田さんが大事なことを言っていました。「これから高校生や大学生になって集まりに行くことがあるかもしれないけれど、**何かかわからないものを勧められても、食べたり飲んだりしないこと**」自分の知らないうちに違法薬物に関わる罪を犯すことにならない戒めです。よく心にとめておいてください。

県警の川島さんも教えてくれました。

たった一度の使用で、あなたの人生を台無しにしてしまう
「危険ドラッグ、ダメ、絶対」「一人で悩まず、すぐ相談」



規制を逃れるため、本来の使用目的を隠し、お香、ハーブ、アロマ、バスソルト、ビデオクリーナー、芳香剤、植物肥料、試験検査薬など様々な用途を装って販売されています。

千葉スクールカウンセラー来校日

7月18日

9月6日

9月13日午後

9月20日午後



保護者の皆様へ

メディアコントロールチャレンジ週間への御協力、ありがとうございました。「また、やるの～」という声が生徒から聞こえてきましたが、心身の健康を害さないメディアの使い方を振り返るきっかけにしたいと思います。2学期、3学期ともに御協力いただけるようお願いいたします。



薬物乱用防止について

少し前ではありますが、大学生の薬物関係の話題が続けざまにありました。最近は、ネットなどで簡単に手に入ってしまいます。また、「みんなやっているから」「関係を悪くしたくないから断れない」など薬物を手にしてしまう誘因が多くあります。使ってしまったから「こんなはずではなかった」と一生を台無しにすることにならないようにしなければなりません。薬物の恐ろしさを知っていることはもちろんのこと。それにプラスして、弱音を吐いたり相談できたりする親子、兄弟、家族のつながりが薬物への誘惑を断ち切る武器になります。最強の武器は、場の雰囲気流されず、自分にとって本当に良いものか悪いものかを判断する力をつけることです。

折に触れ、御家庭でも話題にしてみてください。

熱中症予防のために御協力をお願いします

【熱中症予防のための家庭用チェックリスト】

- 水分は清潔なものを十分に用意した
- 登校前の体調の確認した（だるさや下痢などの体調不良はない）
- 十分な睡眠がとれている
- 朝食はバランスよく栄養が取れた
- 汗拭きタオルや着替えを持たせた

こどもの心 続)性教育

夏休みの映画の宣伝が流れています。制服を着た男女が手をつなぐ、抱き合う、キスをする…。このようなシーンが流れたら「これは、映画の中の話で現実にはありえないこと」とはっきり教えてあげてください。

特に、「開放的な夏」「自由な時間がある休み」この二つがそろっている夏休みは、思春期の子どもの欲求のブレーキがかかりにくく、今後のことを見据えた状況判断ができにくくなります。先月の保健だよりも書かせていただきましたが、今年は特に例年よりも男女交際の関心が高いようです。お子様の心身が傷つくことないように、SNSの利用も含め、日頃よりアンテナ高くして見守りと指導をお願いします。

まずは、関係性の基盤となる愛情豊かな親子関係、家族関係をつくり、どんな環境でも心地よい人間関係が作れるようにしていけたらと思います。

